



The service club to the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2015年11月会報 第326

主 題 ・ 標 語

- 国際会長 (I P) ウィザン・ブーンパジョン (タイ)
 主 題: "Mission with Faith"
 「信念の有るミッション (使命・目的)」
- アジア地域会長 (AP) エドワード ケダブリュー オンガ (シンガポール)
 主 題: "Through Love Serve"
 「愛を持って奉仕をしよう」
- 西日本区理事 (RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)
 主 題: 「あなたならできる! きっとできる」
 "You can do it! Yes, you can!"
- 標 語: 「-生きる しなやか さわやか-」
 - Live flexibly and refreshingly -
- 六甲部長 進藤 啓介 (神戸)
 主 題: 「YMCA と共に」
 《人を育み・地域に仕える》
- 宝塚クラブ会長 鯖尻 佳子
 主 題: 「楽しい例会で素敵な交流の輪を広げましょう!」

今月のテーマ: Public Relations Wellness

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。
 礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。(第一コリント書 13 章 4-8 節 a)

2015年11月第一例会

日 時: 2015年11月 11日(水)18:30
 場 所: 宝塚ホテル
 会 費: 会員3,100円、会員外3,500円
 ドライバー 石田由美子 杉谷 和代
 開会点鐘 鯖尻 佳子会長
 ワイズソング 全 員
 聖 書 杉谷 和代
 祈 禱 堀江 裕一
 ゲスト・ビジター紹介
 会長報告
 会 食

ゲストスピーカー
 神戸 YMCA 総主事 井上 真二氏
 「YMCA とともに」
 アジアユースコンボケーション参加報告

委員会・YMCA 報告
 誕生日のお祝い
 閉会点鐘 鯖尻 佳子会長

2015/16 役 員	会 長 鯖尻佳子 直前会長 杉谷和代 副会長 福田宏子、杉谷和代 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚 六甲部メネット事業主査 福田 素子
事 業 委員長	YMCA サービス・ユース 福田 宏子 地域奉仕・環境 多胡 葉子 EMC 長尾 亘 交 流 石田由美子 ファンド 武田寿子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	桑田佑紀菜(11月22日) 多胡 進(11月26日)
10 月 実 績	例会出席者数 26名 在籍会員数 21名 出席会員数 14名 出席率 66.6% メイクアップ(内数) 0名 メネット 1名 コメント0名、ゲスト・ビジター11名 BFポイント 10月 4,170円 累 計 14,990円 にこにこBOX 10月 1,000円 累 計 34,300円 ファンド(物品販売) 34,500円

10月第1例会報告

好天の続く中、10月14日(水)PM6:30より宝塚ホテル オーシェルの間において、メインスピーカーのプロ棋士 森 信雄 氏をお迎えし開催しました。

鯖尻会長の開会点鐘、ワイズソング合唱、聖書朗読、祈祷へと続きゲスト、ビジターの紹介があり会食に移った。

会食後、森先生のお話を伺った。その骨子は、ご自身の生い立ち(四国



出身、大阪の工場勤務、1980年新人王戦勝利、2007年7段取得)、子供達への啓発活動、近畿竜王戦を戦われる糸谷棋士、若くして亡くなられた村山棋士のお話、そしてご自宅で飼っておられるオームに似た「金太郎」と言う鳥との逸話を写真で紹介され、また多くの著書も紹介された。

最後に先生は身近な事を大切にすることが肝要だと述べられた。そして自分は勝負師ではなく将棋好き人間で、弟子が勝つことが一番の喜びであると締めくくられました。

その後、谷川主事よりワークショップ、ボランティア研修の案内、

西宮 YMCA 中島リーダーより9月に御岳日和田キャンプ場で開催された研修会の報告があり、



誕生日のお祝い、その他の報告としてチャリティランの予告、ジャガイモ事業の連絡、武田 建先生の講演会の案内、京都クラブのPRがあり、最後に会長の閉会点鐘で終了した。

福田 肇

10月第2例会報告

10月21日(水)18時30分から宝塚市西公民館において10月第2例会が行われた。鯖尻会長はじめ、堀江・加藤・武田・多胡・長尾・福田宏子・吉田・青柳・若林各々が出席。内に、神戸 Y のチャリティゴルフ参加した方がおられたが疲れもいとわずの例会であった。議事要旨は次の通り。

1. ブリテン 11月号の編集

ブリテン製作に当たり、寄稿分担、編集日程等について長尾の準備資料に応じてすんなりと事が決められた。毎月の記事からクラブ会員の積極的な活動が目に見えるようで、これを記録するブリテンの価値に気づかされる。

2. 各部会の参加者の確認

11月に開催の京都部会・西中国部会への参加者が登録された。

3. チャリティ・ラン出場者の確認と出店運営

グループ・ランに5名が参加。出店奉仕者はラン出場者の外に3名を確認。買い物・道具類準備・運搬車両などを確認した。

4. 11月例会について

11月例会のゲストスピーカーは神戸 Y 井上真二 総主事、加えて神戸 YMCA 学院専門学校生 2名の参加を予定。ユースの交通費・食事代はクラブで負担。

5. 市民クリスマスの準備状況

合唱練習は概ね順調に進行中。チラシの配布をよろしく。プログラム・進行・役割分担等の詳細は11月第2例会にて協議の予定。

6. 12月例会の準備

今年の12月クリスマス例会は12月12日(土)18時~20時30分、宝塚ホテル・オーシェルの間にて行う。大阪セントラル・大阪なかのしまクラブとの合同例会となる。礼拝奨励にはブリテン聖書解説担当の嶺重牧師をお迎えすることとし日程を調整。会費5000円(ワンドリンク付き)、約70名の参加を見込む。プログラム・進行・役割などを3

クラブ会長で調整してもらおう。オークションを行うのであれば出展品の事前準備を PR する必要があります。当クラブは、武田メンの世話でクリスマスケーキ(シュトレーン)30個を斡旋してもらい、当日販売し、純益はファンドに繰り入れる。

7. じゃがいも、間もなく完売！

10月3日に400箱の入荷後、順調に販売が進み、10/21現在で数箱を残すのみとなった。途中、保管先である大林先生の奥様が急逝されたため、急遽、在庫品を数人宅で分散保管するという事態もあったが、月内完売のめどが出来て一安心。

若林 成幸

会長報告

10月31日瀬戸山陰部部会に多胡メン、石田メン、沢田メン、長尾メンと一緒に参加してきました。場所はレトロな雰囲気です。第一部は部会式典。点鐘、開会宣言から始まりワイズソング斉唱、聖書朗読の後奨励祈祷では「導く方、共に歩んで下さる方」のお話が坂原健司師よりありました。岩崎



圭三郎瀬戸山陰部部長の挨拶後西日本区役員紹介、遠藤通寛理事のご挨拶。また事業主任より語られる各事業アピールは三分間を越える熱いものでした。

第二部は福田剛史様による講演会。「姫路城の保存と活用」です。「姫路城」の建造物としての歴史的な価値、「姫路城大天守閣保存修理事業(平成の大修理)」に携わられた経験から、また過去の

「昭和の大修理」にも触れながら、苦労話や新たな発見、「姫路城」を今後どのように活用していくべきなどスクリーンを見ながら分かりやすく語って下さいました。その後全員で記念撮影を行い第二部は終了。

第三部は場所をかえて懇親会。食前の感謝、乾杯の後和やかな雰囲気の中他のクラブとの交流を深めることが出来ました。アピールタイムでは来年の西日本区大会、また各クラブの行事への参加で大いに盛り上がりました。YMC Aの歌を心を一つにして共に歌い閉会。私達はライトアップされた姫路城を角度をかえて楽しみながら見つつ姫路駅へと向かい、楽しかった交流の余韻に浸りながら帰路に着きました。



鯖尻佳子

部会と例会訪問

びわこ部部会

10月10日(土)第20回びわ湖部部会が近江八幡休暇村で開催され、宝塚クラブから鯖尻会長と多胡が出席した。西日本区各地から総勢155人。

第一部は前滋賀県知事で現在びわこ成蹊スポーツ大学学長の嘉田由紀子氏の特別講演会から始まった。「美しい琵琶湖と未来を担う若者への熱き思い」と題してびわ湖に魅せられ、最初は学者として、



そして8年間の知事職の政治家として、現在は若者を育てる教育者の立場からびわ湖をこよなく愛しびわ湖の水の環境を市民と共に守り続けておられることに関して熱く語られた。

もう一つ印象に残った言葉が、二人の子供を育てながら学者として、政治家としての両立ができたのは、アメリカ留学時に恩師の言葉「子どもへの愛情は一時間十分に注ぐことができれば子供は育つ。その他の時間を専門の仕事に取り組みなさい」という言葉にであったこと。子育てをしている女性へのとても素敵な贈り物に感じられた。

第二部は坂井繁びわ湖部部長のもと部会が開催され、そのあと懇親会へと。

沖島の対岸の浜辺から沖島を眺めながら園庭で開催された懇親会はお天気に恵まれた日であり、とても開放感を味わい楽しい交流のひと時であった。

終了後鯖尻会長と湖畔の浜辺にでて、マザーレイクの水で口をすすぎ改めてびわ湖の素晴らしさを実感し帰途についた。

多胡 葉子

第26回アジア地域大会慰労会

2015年10月3日(土)、18:30から阪急烏丸駅近くのホテルモンレー京都で実行委員会主催により、役員、各委員長、そしてマーシャルが集まり慰労会がありました。70名位の出席だったように思います。

67名のマーシャルの内30名が参加し楽しいリユニオンになりました。



大会には9つの委員会があり、それぞれの業務を全うし、閉会と共に解散になりましたが、マーシャル委員会は解散後、改めて「マーシャル会」となり今

後も交流を深めて行こうと、久保田雅彦委員長の宣言で全員大賛成。その第一歩の集まりでもありました。

岡野泰和直前アジア地域会長や森田美都子実行委員長から「オレンジ旋風」と名付けられ、大会中のマーシャルの働きを大きく評価されたことは全員の喜びと誇りです。「まるで昔から知っているかのようにフレンドリーに迎えてくれた」「いつでもヘルプします、と言う姿勢があった」等々、和のおもてなしが充分に行き渡った3日間でした。

私は委員会発足後すぐに久保田委員長からの依頼で、2010年横浜国際大会マーシャル経験談と接遇マナー研修をさせて頂きより深く関わりを持ちました。

森田委員長の要望は「何と言ってもカッコいいマーシャル」です。みなさんの熱い思いが1つになって、カッコいい、そしておもてなし溢れるマーシャル作戦は大成功でした。

過去の資料がない、と手探り状態の中、元名古屋グランパスクラブの奈良昭彦さんから横浜大会の大量の資料を頂けた事は大きな感謝です。遅くなりましたが代表してお礼を申し上げます。石田由美子

ゲストの一言

10月第1例会に出席して

神戸ポートクラブ 大野 勉

爽やかな気候の10月を迎えて、ちょっと出かけてみたくなりました。

宝塚は、ちょっと出かけてみたくなる所です。そこで、例会があるのですから、楽しみ…。

スピーチは、日本将棋連盟棋士七段の森信雄氏。どのようなお話か、久しぶりに好奇心が湧きました。期待以上のすてきなお話でした。ご自身を誇張することなく、お弟子さんを持ち上げ、その育成こそを使命とされている点が印象的でした。

宝塚クラブの、厳かで温かい雰囲気 of 例会にぴったりのお話でした。ありがとうございました。

10月例会訪問感想文

京都プリンスクラブ 岡西博司

久しぶりの宝塚クラブ例会への訪問でした。

亘さんの一声でお邪魔することになりました。

今回は将棋のプロのお話と言う事で、少し興味が有りました。やはり、プロは「負けない事をまず第一に。」と言う事。アマとプロの違いを痛感させられました。良い教訓を持って帰ることが出来たように思います。例会後、みんなでお茶でもされるのかな？なんて思っていたのですが、終わると「さよなら」と言われ、ちょっと寂しかったです。例会時、お話出来なかった方々との交流時間が有れば良かったのに、なんて。



宝塚ワイズ10月例会への参加

大阪土佐堀ワイズ、福永 勝

残暑が、厳しかった9月の中旬でしたか、突然、長尾ワイズから、お誘いの電話が、有りました。あ、将棋が好きなら、10月度の宝塚ワイズの例会においでよ！宝塚在住のプロの将棋の先生がお話をしやはるでーとの事でした。宝塚市には、攻め達磨で、有名な、「有吉道夫」プロが、おられるのは、知っていましたが、現役の、「森信雄」先生が、住んでおられるのは、全く知りませんでした。

森先生は、故村山聖9段や、山崎隆之8段、そして、現在の糸谷哲郎竜王を、育てた、名泊楽として、有名で、又詰将棋の作家として、将棋界では有名な



先生です、即決で、出席を約束いたしました、当日は、森7段の隣に、席をとって頂き、将棋会館(福島区)が、以前、北畠(阿倍野区)に、在った頃「昭和30年代」の、思い出話を、聞かせてもらいました、弟子達の活躍を願う、やさしい、気配りが、関西将棋界の「梁山泊」として、多くの、門下生を育て上げた核心だと、感銘を受け納得しました。最後に、「アマチュアは、攻めることを優先するが、プロは、自陣の傷の修正をまず考えている」との、アドバイスを頂き、今後の棋力のアップに、繋げたいと感じています。

貴重な、機会を与えて頂き有難うございました。若林さん、第11回「キャロルを歌う夕べ」には、出席させて、頂きます、よろしく。

宝塚クラブ例会3回目の出席

元ユース 重松えみり

1年ほど前、長尾メンから Facebook を通じて例会へお誘い頂きそれ以来何度か例会へ参加させて頂いております。実は Y's Men's Club との最初のご縁は、母が「大阪なかのしまクラブ」のメンバーだったことから学生時代に韓国済州島で開催されたユース・コンボケーションへ参加させて頂いたことでした。そこに参加していたユースたちと Y3-west、Y3-East の設立。

そして、十勝で開催されたユース・コンボケーションへ運営メンバーとして参加。

私の大学時代は Y's Men's Club 一色でした。それから 10 年余り。20 代始めに、会社設立したこともあり無我夢中でビジネスの世界で過ごしてきましたが、久しぶりに参加させて頂いた例会はあの頃と変わらない温かく優しい空間で心が安らぐひと時でした。

「今自分が大人たちにしてもらった事を、出来る時が来たら下の世代にしてあげなさい。」学生時代にある Y'sメンに言われた言葉です。

そろそろ下の世代へ伝えて行く時期になったのかな…そんな事を思う例会でした。

第 5 回清心ホーム収穫感謝祭

関学神戸三田キャンパス「マハロ」フラガールに感謝!

神戸市北区、北鈴蘭台の障がい者施設「清心ホーム」施設長であり、神戸クラブメンバーであり、元西宮 YMCA 主事であった山根泉さんからの依頼により、2015 年 10 月 10 日(日)10:30 から開かれた「第 5 回清心ホーム収穫感謝祭」に関学神戸三田

キャンパス
フラサークル「マハロ」
13 名が出演しました。



入居者、ご家族、スタッフ、近隣住民の方など 100 名以上がホーム・グラウンドに集まり、若くて華やか、元気一杯のフラを楽しまれました。

初めて大勢の人の前で踊る 1 回生 6 名はお稽古の時には見られなかった笑顔が自然と出て観客からのパワーの大きさを感じました。

最後の 7 曲目は 20 年前の阪神淡路大震災復興支援ソング「しあわせ運べるように」です。13 名の内、当時生まれていたのは 3 名だけ。この曲を通して震災を知り、命の大切さを考えて欲しいとの思いで学んできました。

客席では、手を動かして一緒に踊りに入ろうとされる方、手拍子を取られる方、片やステージでは涙ぐみながら踊るメンバーもいて交流を感じる 30 分でした。

終わると何人かの入居者の方が出て来られての「ミニ握手会」。

「マハロ」は今迄にも六甲部部会や幾つかのワイズメンズクラブの例会などでフラを披露しプログラムの盛り上がりにも協力してくれています。今年の「キャロルを歌う夕べ」にも

彼女達のエネルギーは満載になるでしょう。

石田 由美子

大林通子さんを追悼して

元宝塚クラブ、現岩国クラブ 辻 建

大林通子さんが旅先で亡くなられ、遺体が帰って 10 月 12 日(月)午前 11 時、宝塚教会で追悼式が行われる、と長尾さん発のメールで知り唖然としました。ぜひお別れの席にかけつけたい。大林先生の手を握って、ひとこと声をかけたい。その思いがこみ上げて翌朝 6 時に家を出ました。

大林通子さんとのお付き合いは、夫であられる大林先生との豊岡での出会いと一致します。昭和 28 年(1953)頃、当時大林先生は豊岡教会に属しながら、豊岡 YMCA の発足と活動に全力を注いでおられました。通子さんは当然そのよき同伴者として働かれていました。ご家庭を解放して若い人たちの出入りも頻繁でしたから、通子さんの献身的なお働きなしにはこの当時の大林先生のご活躍は成り立たなかったと思います。

大林先生ご夫妻はともに豊岡教会員でわたしはお隣の城崎教会の所属でしたが、同じ橋本正三先生の牧会のもとにありましたから、色々と親しくご指導頂きました。

その後わたしは城崎を離れて西宮の関西学院に学び、卒業後宝塚教会から招きを受けて昭和 42 年(1967)宝塚に移り住むこととなります。同じ時期に大林先生ご夫妻も宝塚に転居されていて、宝塚第 1 中学校の教師として働かれ、いまの野上にお住まいになり、ふたたび教会生活をともにすることとなります。それは思いもかけぬ再会であり、ご夫妻から再度ご指導頂く機会が増えるようになります。

しかし先生ご夫妻と行動を密にする機会となったのは、宝塚ワイズメンズクラブが 1988 年に発足して、大林先生がその初代の会長を勤められ、わたしもメンバーのひとりに加えられてからでした。夫婦単位の活動をするこのクラブにあって、大林先生が西部部長を担われた折など、通子さんともご一緒に東広島や福山など他のクラブの集まりにも顔を出す機会もふえて、夫婦ぐるみでお付き合いする機会が増えました。

とくにわたしの家内がガンを病んで亡くなる前年(1996)に大林先生ご夫妻の計らいで北海道旅行をしたことが忘れられません。当時、東副区と呼ばれていた東日本区の大会が北海道の阿寒湖で開かれ、その後阿寒湖から摩周湖、網走から知床、南にくだって釧路湿原と美しい北海道の自然を大林先生の運転する4人の車で満喫できた経験は忘れられません。大林先生の思い遣りのこもった旅がありました。晩年、通子さんは認知症を病まれて施設での生活が始まりますが、先生はほんとうによく通子さんにつくされました。そのいくつもの姿がわたしのまぶたに焼き付いています。大林先生、ほんとうにご苦労さまでした、とつたない賞め言葉を先生にお送りしたいと思います。

イエスのいのちを受けているものは、肉体の死をもってすべての終わりとは受け取りません。「わたしはよみがえりであり、いのちである。わたしを信じるものはたとえ死んでも生きる。あなたはこれを信じるか」と問いかけられます。イエスからくる「いのち」は死を越えてもなお私たちをとらえて離さない。イエスの命が追いかけてきます。そのいのちに生かされて、大林先生がなお残された地上の日々をのびのびと、あかるく、生きて行かれることを願ってお祈りしています。(2015.10.15)

【今月のみ言葉】

この言葉は「愛の讃歌」として古くより親しまれてきた聖書テキストの中の一節ですが、最近ではよくキリスト教式の結婚式で朗読されるようになったという事情もあり、一般の人にも知られるようになってきました。しかしながら、一読してわかるように、ここでは必ずしも若い男女の愛が主題になっているのではなく、もっと広く、深い意味での愛について語られています。この箇所を読んでまず気づかれるのは、ここで語られている愛の姿が、私たちが一般にもっているイメージとは大きく異なり、「忍耐強い」、「ねたまない」、「自慢せず、高ぶらない」、「いらだ

たず、恨みを抱かない」というように、実に地味で素朴なイメージで言い表されているということです。

しかし翻って考えてみて、私たちは忍耐強いでしょうか。情け深いでしょうか。ねたまず、自慢せず、高ぶらないでしょうか。自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かないでしょうか。あらゆることを忍んで、すべてのことに耐えているでしょうか。もちろん、現実の私たちはそうではないかもしれませんが、いやそれどころか、私たちは往々にして、その逆をやっているように思えてきます。しかしだからこそ、私たちが現実の社会の中で生きていくためには、それぞれがここで述べられているような愛を育て、身につけていかなければならないと、この言葉は私たちに語りかけているように思えるのです。

嶺重 淑

YMCA だより



穏やかな秋の気候、神戸YMCAでは様々などころで行事が行われています。幼稚園、保育園の運動会、学園都市や西宮でのバザーなど、普段はもてない保護者や地域の方とのつながりを感じられる大切な時間を過ごすことができました。11月は深まりつつある秋の中、まだいくつかの行事、そしてアドベントを迎えるときとなります。神戸YMCAでは下記の行事が予定されていますので、ご都合がつけばご参加ください。

1) 第18回神戸 YMCA インターナショナル・チャリティーラン

日 時: 11月3日(火・祝) 9:00~15:00

場 所: しあわせの村(神戸市北区山田町)
宝塚ワイズからも走りに出店にご協力いただいています。可能な方は是非顔を出してください。

2) 世界YMCA/YWCA合同祈祷週

毎年、11月の第2週を「世界YMCA/YWCA合同祈祷週」として、世界中のYMCA/YWCAに集う人々が祈りを共にしています。今年のテーマは「Let There Be Hope(希望あれ)」として、平和について祈り、考える時間を持ちます。下記のような行事が予定されていますので祈りを共にしていただければ幸いです。

11/9(月)7:00-8:30「朝祷会」(於:三宮キリスト教会チャペル)

11/10(火)9:00-10:00「合同礼拝」(於:神戸YWCA)司式:上原信幸司祭

また、祈祷週にあわせて、YMCA国際協力募金のお願いを活動の中でしています。ぜひ国内外の災害・紛争など下で困難な状況におかれた弱者への支援を求めていますのでご協力お願いします。

3) 2015年度YMCAセミナー

「平和を考えるワークショップ」

戦争のような直接的暴力のない状態や、貧困、抑圧、差別など構造的暴力や、さらにそれらを正当化する文化的暴力のない状態を平和と捉える「消極的平和」という考え方。それらに加えて、生き物・いのちをはぐくみ、正義ある平和を構築するプロセスそのものと、その結果としての平和を指す「積極的平和」という考え方。これらの概念を提起し、平和の理解に画期的な転換をもたらしたヨハン・ガルトゥング氏。今回は、ガルトゥング氏とともに平和創造活動を研究されているピースワーカーの奥本京子さんをゲストにお招きし、ワークショップを通して、体験的に学びたいと思います。

日時:11月13日(金)19:00~20:30

場所:日本基督教団 神戸教会

スピーカー:奥本京子さん(大阪女学院大学教授、NARPI 運営委員長)

参加費:無料、事前に神戸 YMCA

(078-241-7204 houshi@kobeymca.org)までお申込ください。

詳細は神戸 YMCA ホームページ

(<http://www.kobeymca.org/>)をご覧ください。